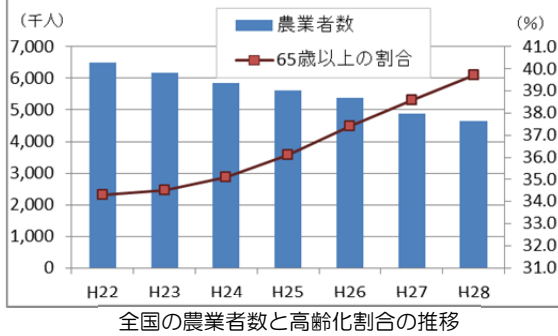


農業・農村の現状と課題

人口減少や農業構造が変化しています

- ・農村の人口減少・高齢化の進行
- ・大規模経営体と小規模農家への二極分化



農業施設の老朽化が進んでいます

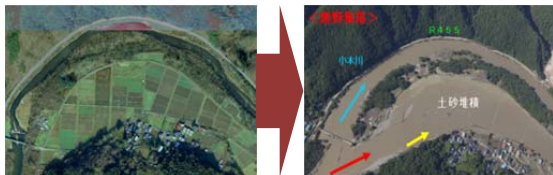
- ・耐用年数を超過した大規模な農業水利施設は2割超
- ・ため池の7割は、江戸時代以前に築造
- ・維持管理コストの増大
- ・パイプライン漏水事故の多発

自然災害のリスクが高くなっています

- ・近年、地震による津波被害や、過去に経験したことのない大雨による農地流出等の災害が頻発

【近年発生した大災害】

平成 23 年 東日本大震災による津波被害
 平成 25 年 7月～9月の3度の大雨被害
 平成 28 年 台風 10 号による大雨被害



『水土里ネットいわて』は、農業・農村の振興を支えています

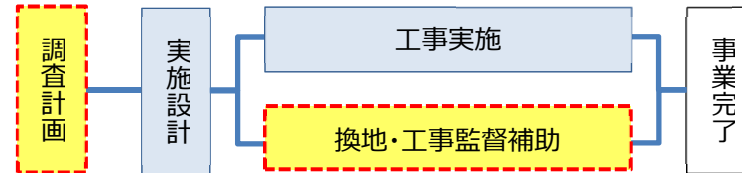
農業の低コスト化を実現する「農業農村整備事業」

水田の区画整理

- 水田の大区画化
→ 大型機械での効率的な農作業
→ GPS 使った無人トラクタの導入
- 自動給水栓の導入
→ 用水管理の省力化
- 暗渠(地下)排水の設置
→ 野菜等の作付が可能に

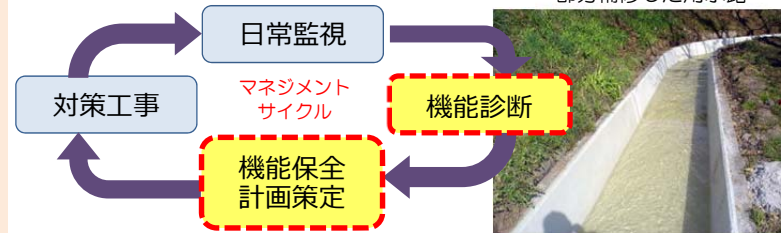


区画整理後の大規模水田



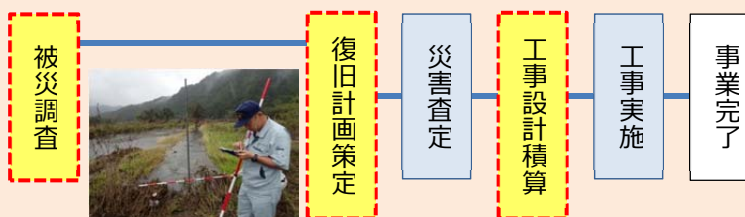
農業水利施設のストックマネジメント

- 水路やポンプ等の機能診断と部分的な補修
→ 維持管理費の縮減、施設寿命の長期化



部分補修した用水路

農地や水路等の災害復旧



水土里ネットいわては、被災調査 に関わる業務を行っています

「水土里ネットいわて」が支える

総合的な技術力で仕事を進めています

- ・顧客の信頼の確保と品質の向上を図るため、職員は各種資格を取得
- ・農業土木技術職員に占める技術士取得者の割合は、各都道府県にある土地改良事業団体連合会の中でトップクラス (21.4%、第2位)



- 【資格取得者】
- ・技術士
 - ・測量士
 - ・土地改良換地士
 - ・第2種電気工事士
 - ・第2種情報処理技術者 etc...

最新の技術を研究・活用しています

- ・クラウドを利用した地図情報システム (GIS) の運用をはじめ、測量や調査等に関する新技術を研究・活用



GIS 活用イメージ

会員のネットワークによって運営しています

- ・会員は県内の全市町村や土地改良区
- ・県、国や会員が行う土地改良事業等への技術的援助や情報提供を実施

